商品市況展望

平成 25 年 11 月 24 日記

① 島根 74.9%、②山形 72.5%、③福井 72.1%、④鳥取 71.8%、⑤富山 68.3%、
…中略…
㊸大阪 46.7%、㊹千葉 46.7%、㊺埼玉 45.4%、㊻兵庫 43.2%、㊼神奈川 41.1%
（全国平均 52.4%）

さてこれは、一体何の数字か？

実は育児をしながら働いているママの割合である。

1 位の島根に関して県の担当者は「親と同居している人が多く、子供を預けやすい」と子育て環境の良さを挙げる一方で、「都会に比べ賃金が低く、やむを得ずに共稼ぎするケースもある」としている。
また最下位の神奈川県の担当者は「東京都内に職場がある人が多く、通勤時間が長いため、育児と仕事の両立が難しいのでは」としている。

いずれにしたって今の世の中は、もう働くママが 2 人に 1 人は居るという事だ。少子化問題が騒がれる中、若年層の給与の問題もあろう。核家族化の問題もあろう。女性の社会進出の台頭もあろう。また人口の首都圏 1 極集中の問題もあろう。地方では問題にはならないが、とにかく首都圏では、特に東京では、絶対的に保育園が不足している！

…以下略…

〔貴金属〕

○東京金日足

…削除済み…

今週の金の値動き

	12 月限(当限)	前日比	10 月限(先限)	前日比
11 月 18 日	¥4,140	-3	¥4,146	-1
11 月 19 日	¥4,086	-54	¥4,091	-55
11 月 20 日	¥4,098	12	¥4,105	14
11 月 21 日	¥4,040	-58	¥4,044	-61
11 月 22 日	¥4,044	4	¥4,048	4

金相場は、先週号においては『今週の安値からは 100 円強の戻りは出たが、所詮は一過性の戻りであろう。戻り売りの方針に変化は無しであり、円安で戻ったところを売るのが良いだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、**4,020 円（11/21）まで下落**。予想通りに戻りは一過性で、また先週の安値を更新である。

チャートでは、6 月に 3,750 円まで大きく下げた以外は、8 月、10 月ともに 4,000 円を割り込んだところは買われており、国内は円安トレンドであるという事もあって、**この辺りの値位置まで下がると警戒感も台頭する。**

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 12 月	¥4,519	12 月 25 日	¥5,081	2 月 7 日	¥3,745	6 月 28 日	¥4,044
2014 年 2 月	¥4,759	2 月 26 日	¥4,979	3 月 21 日	¥3,751	6 月 28 日	¥4,051
2014 年 4 月	¥4,585	4 月 25 日	¥4,760	5 月 10 日	¥3,749	6 月 28 日	¥4,046
2014 年 6 月	¥4,031	6 月 26 日	¥4,531	9 月 4 日	¥3,750	6 月 28 日	¥4,045
2014 年 8 月	¥4,424	8 月 28 日	¥4,532	9 月 4 日	¥3,975	10 月 16 日	¥4,047
2014 年 10 月	¥4,254	10 月 29 日	¥4,298	10 月 31 日	**¥4,020**	**11 月 21 日**	¥4,048

○NY 金日足

…削除済み…

11/22 の NY 市場では、前日比 0.5 ドル高の 1244.1 ドルでの終了。安値は 1240.3 ドルまであった。

先々週号（11/10 号）から、当方はこのようなコメントを発している。

「チャートでは **1434 ドル（8/28）→1251 ドル（10/15）までの下げが 183 ドル幅。もしも同様の下げが 1361.8 ドル（10/28）を起点として発生するならば、ズバリ 1178.8 ドル辺りが目標となり、それは奇しくも 6/28 に記録した安値 1179.4 ドルとほぼ一致する。**流れとしては年末に

掛けて、その辺りまで下がると見るのが順当だろう」とコメントした。
　相場は現在、それに向けての下降中であろう。そりゃ相場だから、総弱気になれば自然ともどるだろうが、だからと言って買いトレンドへの転換は困難だろう。

　さて今回もアップするが、大手金融機関の金相場に対する見通しは、軒並み弱気予想である。…中略…

　なお CFTC 発表の **11/19 現在のファンドのポジション**は、…中略…

　また 11/15 現在での ETF 残高は、…中略…

　株式市場は、金融緩和継続で資金流入が起きているわけだが、金はその対極にあるわけだ。これもずっと言い続けている事であり、とにかく金融資本家がそのように行動しているのだから、相場の世界でそれに逆らってもしょうがないだろう。
　いつかこの潮目が逆転する事もあるだろうが、その場合にも何らかの兆候があるはずだ。数字は嘘を付かないわけであり、買いはそうなってから考えれば良い。

　結論として当方の相場観は、戻り売り相場に変化は無しである。ただし感謝祭前に急落した場面があれば、それは利食いをする場面であろう。

○東京白金日足
…削除済み…

今週の白金の値動き

	12 月限(当限)	前日比	10 月限(先限)	前日比
11 月 18 日	¥4,650	−49	¥4,674	−40
11 月 19 日	¥4,546	−104	¥4,570	−104
11 月 20 日	¥4,566	20	¥4,588	18
11 月 21 日	¥4,546	−20	¥4,568	−20
11 月 22 日	¥4,548	2	¥4,573	5

白金相場は、先週号においては『暴騰するほどの相場とは思えぬが、まだ安易に売る相場でもないだろう。4,600 円台を維持している限りは、まだ押し目買いのトレンドに居ると判断したい』とコメントした。

今週の相場展開は、**4,522 円（11/21）まで下落**。先週末の高値 4,740 円（11/15）からは 200 円超の下落となった。

チャートでは 4,700 円台乗せで一目均衡表の雲の上に出た後、19 日の急落で一気にまた悪化した格好である。4,600 円割れで素早く売った人は成功であろうが、金に比べればまだ 10 月の安値まではかなりの幅があり、これをプラチナの下げ余地があると見るのか？　それとも強いと見るのか？は微妙なところである。

…中略…

先週号でコメントしたプラチナ独自の材料をもう一度載せると、**ジョンソン・マッセイ社**は比較的強気の見通しを発表している。

○ **2013 年のプラチナ需給は 18.8 トンの供給不足**。（前年の 10.6 トンの不足から拡大）
○ **2014 年も供給不足が続く見込み**。
○ **価格予想レンジ 1360～1580 ドル、平均 1465 ドル**。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京白金一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 12 月	¥4,249	12 月 25 日	¥5,300	2 月 8 日	¥4,122	6 月 27 日	¥4,548
2014 年 2 月	¥4,831	2 月 26 日	¥5,052	3 月 12 日	¥4,125	6 月 27 日	¥4,548
2014 年 4 月	¥4,622	4 月 25 日	¥4,999	5 月 16 日	¥4,109	6 月 27 日	¥4,554
2014 年 6 月	¥4,284	6 月 26 日	¥4,948	9 月 4 日	¥4,125	6 月 27 日	¥4,555
2014 年 8 月	¥4,810	8 月 28 日	¥4,956	9 月 4 日	¥4,302	10 月 4 日	¥4,564
2014 年 10 月	¥4,648	10 月 29 日	¥4,740	11 月 15 日	**¥4,522**	**11 月 21 日**	¥4,573

○東京白金－金価格差日足
…削除済み…

週末現在のサヤは、4,573 円（プラチナ）－4,048 円（金）＝525 円。

11/15 に **567 円幅**まで拡大した後、一度大きく調整を入れてまた拡大。567 円時点では相対力指数も 70 ポイントを大きく超えていたため、50 ポイント台まで調整したのは、指数調整としては理想的な動きである。

となれば、上記のプラチナ自体の材料や南ア情勢の不安定さなどを加味して考えれば、**どこかで再びサヤは拡大してゆく可能性の方が高いのでは？**

となるとプラチナ自体も、やはり安いところは買いから…という戦略も妥当なものと考える。

結論として当方の相場観は、4,400 円～4,800 円程度での逆張り相場を予測。金の影響を受けないわけはないが、プラチナは単体で考えれば弱い相場ではないと見ているゆえに。

〔原油・石油製品〕

○NY 原油日足
…削除済み…

まずは原油から…

先週号においては『このところ突っ込みは利食いでも、戻り売り一貫の相場観で臨んできた相場であるが、今週の切り返しにより様相は変化。安易な売りは停止し、しばらくは様子見するのが良いだろう。場合によっては、押し目買いへの転換も考えたいが、これも高いところは買いたくない』とコメントした。

今週の相場展開は、**NY 原油は 92.43 ドル（11/19）**まで下落の後、21 日には **95 ドル台まで急反騰**。週末 11/22 は、前日比 0.60 ドル安の **94.84 ドル**での終了である。

相対力指数の逆行現象と、当方の元々の目標値 92 ドル到達から急反騰の展開である。おそらく相場は、戻りに入ったであろう。

上値抵抗線は、下から 97 ドル、102 ドル、107 ドルとなる。おそらくその道中のどこかで、再び 2 番底を付けるような下落もあると考えるが、当面は売れない相場であろう。

ただしそれは、NY 原油ならば…という話である。**東京原油はすでに夏場の高値を抜いている**わけであり、…中略…

なお CFTC のファンドの建玉報告は、…中略…

○東京原油金日足
…削除済み…

今週の東京原油の動き

	11 月限（当限）	前日比	4 月限（先限）	前日比
11 月 18 日	¥66,050	−60	¥61,660	−190
11 月 19 日	¥65,930	−120	¥64,550	−110
11 月 20 日	¥65,830	−100	¥64,230	−320
11 月 21 日	¥66,050	220	¥64,760	530
11 月 22 日	¥66,520	470	¥66,190	1430

東京原油は **61,130 円（11/8）を底とし、今週は 66,500 円（11/22）まで急騰である。**

チャートでは、11/8 の“底抜け“から、先週は一目均衡表の雲の上にも出て買い転換。先物引き継ぎ足では 66,750 円（8/28）の夏場の高値に届いていないが、**実際には逆ザヤで一代足はすべて新高値となっている**わけで、買い方は全員利が乗り、売り方は全員損を抱えている状態である。（もちろん、22 日の最高値で売り買いした人は別だが…笑）

ただし、ここからは買いたいとは思わなし、相場は安いところで買って、高いところを売って儲けるものなのだから、これからは売り狙いである。どこで売るかの思案橋という事だ。

もう一度、先週号のコメントを載せておくと…

安値から 4,000 円上げは通常の一サイクルであるが、**前週までの「戻り売りの相場観」は撤退**。更なる上昇相場に発展するのかどうかはまだ判らぬが、少なくとも**相場観は中立に戻したい**。売り玉があるなら、損切りしての様子見である。

底抜けしたら切り返す意地の悪い動きをしているのだから、案外と上抜けしたら天井を打つのかもしれない。上ぬけとすれば、少なくとも 66,000 円とか、67,000 円とかかもしれない。

実際に、上記の出来事が出現したわけなのだから、次は当然の如く、逆を狙うわけである。

なお一代の動きは以下のとおり。

東京原油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 11 月	¥60,370	6 月 3 日	¥67,810	9 月 9 日	¥58,040	6 月 14 日	¥66,520
2013 年 12 月	¥60,580	7 月 1 日	**¥67,770**	**11 月 22 日**	¥60,000	8 月 9 日	¥67,410
2014 年 1 月	¥62,420	8 月 1 日	**¥66,960**	**11 月 22 日**	¥59,720	8 月 9 日	¥66,740
2014 年 2 月	¥63,890	9 月 2 日	**¥66,790**	**11 月 22 日**	¥61,410	11 月 8 日	¥66,450
2014 年 3 月	¥62,520	10 月 1 日	**¥66,650**	**11 月 22 日**	¥61,250	11 月 8 日	¥66,310
2014 年 4 月	¥63,780	11 月 1 日	**¥66,500**	**11 月 22 日**	¥61,130	11 月 8 日	¥66,190

当限を除いて、すべて一代高値を更新したわけだ。

結論として当方の相場観は、東京原油と NY 原油の動きは別物であり、NY 原油はまだ底打ちから反騰に転じたばかりだが、東京原油は高値圏へと舞い上がった後である。高値圏では、当然そこからの買いを考えるよりは、どこで売るかを考える事となる。

〇東京ガソリン日足
…削除済み…

今週のガソリンの値動き

	12 月限(当限)	前日比	5 月限(先限)	前日比
11 月 18 日	¥73,100	−320	¥76,830	−430
11 月 19 日	¥72,770	−330	¥76,830	0
11 月 20 日	¥72,300	−470	¥76,740	−90
11 月 21 日	¥72,550	250	¥77,140	400
11 月 22 日	¥72,870	320	¥78,220	1080

続いてガソリンです…

先週号においては『チャートは 14 日に買い転換。売りは完全撤退である。ただし高値を買い進むのも危険と見ており、割高を売る、割安を買うという冷静な見方が必要であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けは下落でその後もたついたものの、週末には急騰。**78, 700 円 (11/22)** まで記録することとなった。

原油がほぼ全限一代高値となっている中、ガソリンはそこまでには至っていないものの、それでも 78, 000 円台までの上昇となって来たわけだ。強い相場である。

だが相場に臨む方針としては、…中略…

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京ガソリン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 12 月	¥71,760	5 月 27 日	¥77,880	9 月 6 日	¥69,450	6 月 14 日	¥72,870
2014 年 1 月	¥70,660	6 月 26 日	¥77,500	8 月 28 日	¥69,520	6 月 27 日	¥74,170
2014 年 2 月	¥75,050	7 月 26 日	¥77,660	8 月 28 日	¥71,020	8 月 9 日	¥75,290
2014 年 3 月	¥76,610	8 月 26 日	¥78,870	8 月 28 日	¥73,060	11 月 8 日	¥76,880
2014 年 4 月	¥76,190	9 月 26 日	¥78,550	10 月 17 日	¥73,350	10 月 8 日	¥77,680
2014 年 5 月	¥75,100	10 月 28 日	**¥78,700**	**11 月 22 日**	¥73,620	11 月 8 日	¥78,220

11/22 現在の業者間転売価格は、7…中略…

11/16 現在のガソリン在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、ここから更に一段高するようであれば、引きつけての売り狙いであろう。逆に調整安が出るようであれば、押し目買いという相場であろうと見る。

〇東京灯油日足
…削除済み…

今週の灯油の値動き

	12 月限(当限)	前日比	5 月限(先限)	前日比
11 月 18 日	¥80,390	−700	¥75,620	−510
11 月 19 日	¥80,420	30	¥75,920	300
11 月 20 日	¥80,480	60	¥75,960	40
11 月 21 日	¥80,790	310	¥76,340	380
11 月 22 日	¥81,700	910	¥77,700	1350

最後に灯油です…

先週号においては『期近主導の上昇はもう少し続くかもしれない。しかしそれに騙されて先物を買うのは避けた方が良いだろう。絶対に下がるとは言わないが、高値を買い進むとはしごを外されるだろう』とコメントした。

今週の相場展開は、週前半確りはしていたが、一方で一目均衡表の雲で頭の重い展開となっていた。だが週末に急騰し、一気に雲の上に躍り出た格好である。

雲の上に躍り出た相場は、チャート上の上値抵抗線である 78,320 円を突破すれば更なる上昇相場となるが、先物 5 月限でそこまでの相場になるのは困難では？

不需要期の相場は戻り売りと考えており、さも強そうに見えるところは売り場になるのではと当方は考えるわけだ。

だが一代足の推移を見てもわかるとおり、**需要期限月はすでに 82,000 円台乗せ**であり、チャート上の高値よりも更に上に居るわけで、これは別物である。ずっと夏から言っている通りだ。

なお一代の推移は、以下のとおり。

東京灯油一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 12 月	¥74,610	5 月 27 日	**¥81,900**	**11 月 22 日**	¥71,580	6 月 14 日	¥81,700
2014 年 1 月	¥73,900	6 月 26 日	**¥82,280**	**11 月 22 日**	¥72,650	6 月 27 日	¥82,170
2014 年 2 月	¥78,000	7 月 26 日	**¥82,000**	**11 月 22 日**	¥74,130	8 月 9 日	¥81,760
2014 年 3 月	¥79,130	8 月 26 日	¥81,010	9 月 9 日	¥75,710	11 月 8 日	¥80,100
2014 年 4 月	¥75,440	9 月 26 日	**¥78,550**	**11 月 22 日**	¥73,430	11 月 8 日	¥78,290
2014 年 5 月	¥74,290	10 月 28 日	**¥77,950**	**11 月 22 日**	¥72,900	11 月 8 日	¥77,700

11/22 現在の業者間転売価格は、…中略…
11/16 現在の灯油在庫は、…中略…

結論として当方の相場観は、中物限月の押し目買い、先物限月の戻り売りの相場は続くだろう。それが相場の摂理にかなっているゆえに。

〔ゴム〕

○東京ゴム日足
…削除済み…

今週のゴムの値動き

	11 月限(当限)	前日比	4 月限(先限)	前日比
11 月 18 日	248.6	−0.6	261.2	−0.9
11 月 19 日	247.3	−1.3	258.4	−2.8
11 月 20 日	249.0	1.7	258.7	0.3
11 月 21 日	248.5	−0.5	258.3	−0.4
11 月 22 日	250.0	1.5	260.0	1.7

先週号においては『ファンダメンタルズから見て大勢の相場観は売りだろうと判断するが、目先は 270 円と来るか、255 円割れと来るかが焦点だろう。売りのタイミングを待ち、上抜けた場合は様子見としたい』とコメントした。

今週の相場展開は、260 円を挟んだもみ合い。

相場は完全に膠着状態に陥っている。目先は W 底を打った気配があるし、株式市場なども高値更新であり、原油も急騰中という支援材料があるゆえか。しかしゴム自体のファンダメンタルズで見た場合、産地の供給は潤沢であり、消費地在庫もまた多い。だから上値も重いという状況になっているわけだ。
…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京ゴム一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 11 月	267.7	5 月 28 日	279.0	9 月 9 日	223.9	6 月 25 日	250.0
2013 年 12 月	231.0	6 月 25 日	282.5	9 月 9 日	225.5	6 月 25 日	252.8
2014 年 1 月	257.0	7 月 26 日	287.1	9 月 9 日	238.7	7 月 31 日	254.0
2014 年 2 月	278.8	8 月 27 日	290.3	9 月 9 日	249.2	11 月 5 日	256.0
2014 年 3 月	277.9	9 月 25 日	278.5	9 月 25 日	251.0	11 月 5 日	258.2
2014 年 4 月	261.1	10 月 28 日	265.4	10 月 31 日	253.5	11 月 5 日	260.0

当先のサヤは、11 月限 250.0 円～4 月限 260.0 円と **10.0 円の順ザヤ**。順ザヤ幅は若干縮小したが、同ザヤには向かわないだろう。

週末現在の輸入採算価格は、…中略…

国内営業倉庫在庫は、10/31 現在で 383 トン増の 5,697 トン。2 旬連続の増加である。

上海ゴム在庫は、…中略…

上海ゴム価格は、…中略…

結論として当方の相場観は、産地供給量、上海在庫の激増などゴム自体のファンダメンタルズに上昇の機運は無いが、かと言ってチャートは崩れの気配も無い。こういう時は、やはり様子見が一番。ゴムだけが商品相場じゃあるまいし…という事である。

〔穀物〕

〇東京コーン日足

…削除済み…

今週のとうもろこしの値動き

	1 月限（当限）	前日比	11 月限（先限）	前日比
11 月 18 日	¥24,700	−780	¥24,870	−280
11 月 19 日	¥24,380	−320	¥24,540	−330
11 月 20 日	¥24,600	220	¥24,690	150
11 月 21 日	¥24,770	170	¥24,730	40
11 月 22 日	¥25,500	730	¥25,010	280

まずはコーンから…

先週号においては『ちょっと上がったからといって魅力はない。年内は仕掛け無用の相場であろうと見ている』とコメントした。

今週の相場展開は、先週記録した戻り高値 25,440 円から週半ばには 1,000 円近くの下落となったものの、週末に掛けては円安の影響でまた戻した。

円安はコーン相場の支えであるが、それだけでコーンを買うなら、直接ドルでも買った方がマシだろう。コーン自体のファンダメンタルズは、**生産高は 139 億 8,900 万 Bu の大豊作、在庫率は 14.6%と昨年の倍ある**わけで、こんなもの上がったって、大したことがあるわけがない。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおりである。

東京コーン一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2014 年 1 月	¥25,700	12 月 17 日	¥28,600	6 月 3 日	¥23,350	10 月 3 日	¥25,500
2014 年 3 月	¥27,290	2 月 18 日	¥28,750	6 月 3 日	¥24,030	8 月 12 日	¥24,700
2014 年 5 月	¥26,550	4 月 17 日	¥28,970	6 月 3 日	¥23,050	10 月 15 日	¥23,920
2014 年 7 月	¥26,600	6 月 17 日	¥28,410	6 月 21 日	**¥23,450**	**11 月 20 日**	¥24,100
2014 年 9 月	¥25,190	8 月 16 日	¥26,600	8 月 27 日	¥24,180	11 月 8 日	¥24,630
2014 年 11 月	¥24,790	10 月 16 日	¥25,440	11 月 12 日	¥24,380	11 月 8 日	¥25,010

また CFTC 発表のファンドの建玉報告では、1…中略…

結論として当方の相場観は、新春まで仕掛ける相場ではないとの判断。年明けから考えれば十分だろう。

〇東京一般大豆日足
…削除済み…

今週の大豆の値動き

	12 月限(当限)	前日比	10 月限(先限)	前日比
11 月 18 日	¥60,600	600	¥54,140	−620
11 月 19 日	¥60,800	200	¥54,060	−80
11 月 20 日	¥60,700	−100	¥54,160	100
11 月 21 日	¥60,700	0	¥54,540	380
11 月 22 日	¥61,000	300	¥55,060	520

続いて一般大豆です…

先週号においては『大相場になるようか環境ではない。新穀が安値で買い拾えるようになるまでは、手出し無用であろう』とコメントした。

今週の相場展開は、週明けこそ急落したものの、その後は円安もあって反騰。週末には **55,300 円（11/22）まで記**録である。

コーンと違い、在庫率は 5.2%（昨年は 4.6%）とファンダメンタルズはさほど悪くないという側面があるので、大豆はどんどんコーン相場よりも割高となって行っている。

…中略…

なお一代の動きは以下のとおり。

東京一般大豆一代の動き

	始値		高値		安値		現在値
2013 年 12 月	¥50,680	12 月 17 日	**¥61,000**	**11 月 22 日**	¥48,450	1 月 9 日	¥61,000
2014 年 2 月	¥53,000	2 月 18 日	**¥60,500**	**11 月 22 日**	¥48,960	8 月 8 日	¥60,500
2014 年 4 月	¥50,910	4 月 17 日	¥60,000	9 月 4 日	¥49,850	5 月 2 日	¥58,880
2014 年 6 月	¥51,760	6 月 17 日	**¥56,780**	**11 月 22 日**	¥49,130	8 月 8 日	¥56,410
2014 年 8 月	¥52,600	8 月 16 日	**¥55,620**	**11 月 22 日**	¥51,480	10 月 3 日	¥55,320
2014 年 10 月	¥53,600	10 月 16 日	**¥55,300**	**11 月 22 日**	¥51,900	10 月 16 日	¥55,050

また CFTC 発表のファンドの建玉報告では、…中略…

結論として当方の相場観は、コーンが一代安値も記録する限月がある中で、大豆は期近～先物まで一代高値の更新中。だが当方は、一巡して、安くなるまでは仕掛ける気は起きぬ。

〔為替・株式〕

○ドル/円相場、ユーロ/円相場日足
…削除済み…
　三角持ち合い上放れで 101 円台までドル/円は円安となっている。円は対ユーロでも安い。前回コメントした「ターゲットは下から、100.60 円、101.53 円、103.73 円となる。下値の岩盤は 98 円台である」としたのは、まず 101.53 円までをクリア。次は 103 円台か？

　なお来週の主な予定は、…中略…などとなっている。

　相場格言では、「**感謝祭に笑ったものは、クリスマスで泣く**」というように、この感謝祭を境に相場付きが変わることが多いとされている。為替に限らず、今週末から来週に掛けては、細心の注意が必要だろう。

○日経 225、NY ダウ日足
…削除済み…
　それぞれ週末の 1 本だけ入っていないが、日経平均先物は 22 日に 15,600 円まで上がり、その後 300 円ほど値を消したが、週末のシカゴ日経平均先物は 15,540 円とまた切り返して終わっている。
　NY ダウも 54 ドル高の 16064 ドルと新高値の更新である。感謝祭が、買い方にとっては収穫の時期になるか。

　このレポートは、私が個人的な判断で書いたものです。
内容の責任はすべて私に帰するものですが、取引に対する利益を保証するものでは在りません。
（当たり前ですが念のため）

ひげの中ちゃん相場情報

中田幸一郎

メールアドレス info@higenaka.com